



## 先月の山行

- |                |        |
|----------------|--------|
| ☆ 3月 4日(日) 伊吹山 | 山行報告参照 |
| ☆ 11日(日) 銀杏峰   | 山行報告参照 |
| ☆ 25日(日) 藤原岳   | 山行報告参照 |

## 4月の予定

- ☆ 8日(日) 大仏寺山
- ★ 12日(木) 総会
- ☆ 22日(日) 鎌ヶ岳 三重県  
イワザクラ 1161m 3時間  
CL

## 5月の予定

- ☆ 6日(日) 鷲走ヶ岳  
CL
- ★ 10日(木) 例会
- ☆ 13日(日)  
CL
- 19日(土) 労山50年創設記念安全講座
- ☆ 20日(日) 記念登山荒島岳  
CL

遭難対策基金 1000円年会費 6000円  
会計までお願い致します。

## 山行申込み方法

・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください

山の予定は天候に左右されます。より hot な情報は

<https://asihiking2.jimdo.com/山行計画-1>

検索し再確認して下さい。

## 山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

## 【山行報告】

伊吹山 1377m .12km.5時間

日時:2018年3月4日(日)

カネキ駐車場 5時30分集合

スタート 7時15分

1合目 7時40分、3合目 8時30分アイゼンを装着、5合目 9時5分、山頂 10時15分着、休憩 45分間  
下り山頂 11時発、3合目 12時着、1合目 12時30分着、登山口駐車場 13時着カネキ駐車場 15時45分着  
上り 3時間、下り 2時間



本日は朝から快晴でしかも気温は高く気持ちの良い山行でした。2合目すぎまでは泥道、5合目からは伊吹山のハイライト急登が山頂まで続く。汗はかくし足はパンパン、アキレス腱はビンビン、息ははあはあ、きつい登りでした。山頂は風が強いが太陽が出ていた為、さほど寒さはいませんでした。下りはすいすいと下りる事が出来、あっという間に1合目に着き時間も予定より1時間以上も短縮できました。帰りのお風呂はバーデあざいに入りました。参加した皆さんのおかげで無事LCを務める事が出来、ありがとう御座いました。また、今日も楽しい山行になりました。個人的には伊吹山は今回で4回目。



3合目手前より伊吹山南面

## 銀杏峰（1441m）

日時；2018年3月11日（日）



福井グループと鯖江グループが車二台に分乗、大野ヴィオで合流し、宝慶寺いこいの森へ向かう。道路の温度表示はマイナス4度で、今日の雪の状態が容易に想像できる。

県道沿いに数台が路上駐車している。いこいの森の駐車場には入れないようだ。我々もここに車を止め、登山口まで車道を歩くことにする。

天気予報では昼過ぎから曇ってくるという。「今日は銀杏峰から部子山に行かない」ことを確認し、アイゼン、ピッケルを持って出発する。

歩き初めは、アイゼンの音が小気味よく聞こえ、それが雪に刺さるのがよくわかる。雪道では足を大きく上げるため疲れる。おまけに登り一辺倒だから余計であ



る。すぐに衣服が汗ばむのを感じる。

身繕いを整え直し、登りに再チャレンジだ。後ろを振り向けば、白山を真ん中に左手に経ヶ岳、右手に荒島岳がまさにパノラマ風景である。前を見ると木々に氷

の花がついている。樹氷だ。青空に映えて美しい。前山に到着し、全員集合するまで大パノラマを満喫する。ここで恒例のリングの差し入れをいただく。いよいよここからは今日のメインビジュアルを目の当たりにする。青空から小さな氷の塊が音を立てて落ちてくる。太陽の熱の凄さを実感する。

さらに進むと標柱に「エビの尻尾」、まさに氷柱になっている。そばのハイマツは氷が凍てつき、ホワイトモンスターにみえる。地面に目をやれば風紋？氷紋？だろうか、鳥の羽か、魚の鱗状のシュカブラのようなものがある。今まで見たことない、まさに自然の造形美だ。

頂上はすぐそこだ。頂上の標柱には完璧なエビの尻尾が出来上がっていた。祠の屋根は、風のなせる業か、西側は何もないのに東側は氷が凍てついでいる。ここは風が強く、少し曇ってきたようで白山や荒島岳もぼんやりしか見えない。寒さも半端でないので、名残り惜しいが、脳裏にこの風景を焼き付け、早々に下山することにする。

今回も「あしハイキング」の下りは早く、追い付くことができない。だが仲間が前山で待っていてくれた。午前 11 時、ここで昼食だ。粉雪が舞ってきて寒い、今日は野菜たっぷりの卵入り水餃子、身体の芯まで温まり、お替わりまでいただく。

長居すると折角温まった身体が冷えるので、ここでも早々に下山だ。下山中の休憩時にピッケルの使い方講習会もあり、時間もあっという間に過ぎ去った。県道の車を止めたところで、今日の山行の締めめの 2 次会開催、おいしいコーヒーとお菓子でお腹を満たす。

日本勤労者山岳連盟発行「登山時報」では、労山会員の皆さんからの投稿写真を募集しています。

登山時報投稿写真係 <mailto:tozanjiho@jwaf.jp>

[spvd9w29@ivy.ocn.ne.jp](mailto:spvd9w29@ivy.ocn.ne.jp) に送信ください。

畑中義和

